麻　酔　科

【実習の到達目標】

（1）　周術期の患者管理の基本を習得する。

（2）　気道確保、静脈路確保の基本を習得する。

（3）　麻酔科関連診療分野との医療連携について知見を深める。

【実習スケジュールと内容】

実習初日は 7:45 にカンファレンスルームに集合（診療棟 4F）

祝祭日がある場合は適宜変更する。月曜日が休日の場合は火曜日に概要説明をする。

<table>
<tr><th></th><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr>
<tr><td rowspan="2">午前</td><td>集合時間</td><td>7:45</td><td>7:45</td><td>7:45</td><td>7:55</td><td>7:55</td></tr>
<tr><td>実習内容</td><td>概要説明
手術室
(カンファ室)</td><td>手術室実習
(カンファ室)</td><td rowspan="4">手術室実習

症例担当**
(カンファ室)</td><td>SICU /
PCA***
（管理室）</td><td>PCA /
SICU ***
（管理室）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">午後</td><td>集合時間</td><td>13:00</td><td>13:00</td><td>13:00</td><td>13:00</td></tr>
<tr><td>実習内容</td><td>講義*
実技実習*
（管理室）</td><td>症例担当の
準備**
（管理室）</td><td>講義*
実技実習*
（医局）</td><td>症例発表**
総括
（医局）</td></tr>
</table>

カンファ室：カンファレンスルーム（診療棟 4F）、管理室：麻酔管理室（診療棟 4F）、医局：中央研究棟 3F

*　講義、実技実習は、症例の評価や気道確保実習、静脈路確保実習、ペインクリニック講義などを行う。

**　症例担当は各自割り当て症例の麻酔管理を最初から最後まで指導医とともに行う。

- ◆　前日（火曜日午後）に症例が割り当てられるので、実習指導医の指導の下でプレゼンの準備を行う。
- ◆　当日（水曜日）朝のカンファレンスで各自プレゼンを行う（プレゼンの方法は実習要領に記載）。
- ◆　最終日午後の総括で各自パワーポイントにまとめてプレゼンする（定型書式なし）。
- ◆　翌週の月曜日まで（必着）にレポートを提出する（レポート記載要項は実習要領に記載）。

***　SICU、PCA の実習は班の中で 2 班に分かれて実習する（例：木曜日に SICU の実習を行った場合、金曜日は PCA の実習）。**PCA 担当の方は SICU 回診に参加後、PCA 指導医の到着まで管理室で待機してください。**

【実習における注意点】

服装は白衣、医師としてふさわしい身だしなみをすること。
無断での欠席、遅刻、早退は厳禁。
手術室内では清潔・不潔の区別に特に注意し、実習指導医の指示を守ること。
手術室内では不用意な言動を慎むなど、言動に注意すること。
ポートフォリオは毎日記載し、実習最終日にコピーを提出すること。
患者個人が特定できる医療情報は決して病院より持ち出さないこと。

【実習要領】

● 症例担当当日のプレゼンテーション方法

最初に、患者さんの名前、病名、術式を述べて下さい。この時、術式はなるべく、手術コードの病名ではなく、臨床術式を述べてください。例えば手術コードの病名が「胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術」の場合、臨床術式は「胸腔鏡補助下右肺上葉切除」です。

次に、術前のリスク因子の提示と、それぞれについて簡単な評価を述べてください。例えば,「高血圧があります。降圧薬を内服しており、普段の血圧は 130/80 mmHg とコントロール良好です。」や、「糖尿病があり、傾向血糖降下薬を内服していますが、HbA1c が 9.0%とコントロールはやや不良です。」などです。

最後に ASA　PS と麻酔方法を提示します。麻酔方法ですが、例えば、「全身麻酔で行います。」、「全身麻酔と硬膜外麻酔で行います。」などでよいです。ただし、リスク因子や術式により、特殊な麻酔方法が必要な場合には、それについても述べてください。

● レポート記載要項・

<u>翌週の月曜までに</u> E-mail: masuika@hiroshima-u.ac.jp <u>へ提出すること（月曜日必着）。</u>

1. 実習の総括を踏まえて担当症例の概要をレポートする。
2. 書式は MS ワード形式(.docx)で作成する。A4 版・10 ポイント活字を使用すること。
3. 記載事項
   - ◆ 学生氏名、学生番号、担当麻酔科医、麻酔指導医（患者の個人情報は記載しないこと）
   - ◆ 基本情報と術前評価
     - a. 基本情報（年齢、性別、身長、体重）
       病名・予定手術術式
     - b. 既往歴
     - c. 代表的な理学・検査所見
     - d. ASA クラス分類
     - e. 術前の麻酔科的問題点と評価
     - f. 術前の麻酔管理計画と注意点
   - ◆ 麻酔導入・維持・覚醒の状況（実際に行った麻酔管理の詳細）
     - a. 装着したモニター機器
     - b. 麻酔導入の方法と使用薬
     - c. 気道確保の方法と使用した器具
     - d. 人工呼吸器の設定条件
     - e. 併用した区域麻酔法
     - f. 静脈路確保の方法
     - g. 動脈ライン、ＣＶＣ確保の方法
     - h. 麻酔維持に使用した薬剤

i. 麻酔覚醒時の患者の状態変化
j. 回復室の所見と検査所見
k. 術後指示の内容と鎮痛対策

◆ 麻酔の総括

a. 施行術式・手術時間・麻酔時間
b. 体液バランス（尿量, 輸液量, 出血）
c. 主要なバイタルサインの推移

◆ 考察・その他

a. 麻酔管理中の問題点と対処法
b. 実習で学んだ点

【評価方法】

出席点（40 点）
教員による個別評点（40 点）
総括・レポートの評価点（20 点）

【指導教員】

堤　保夫、仁井内浩、佐伯　昇、中村隆治、加藤貴大、三好寛二、神谷諭史、楢﨑壮志、豊田有加里、横見　央、羽間恵太

【麻酔科教務担当】

三好寛二

● **遅刻や欠席を連絡する場合は下記に連絡すること**

連絡先

TEL： 082-257-5267（医局秘書　寺田）・082-257-5533（麻酔管理室　直通）
E-mail: masuika@hiroshima-u.ac.jp（当日の遅刻・欠席の連絡は電話で行うこと）